

我が学びや

令和8年2月18日
白川小 学校便り No.6

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切にし、学び合いを楽しみ、高め合う子どもの育成

重点取組: ①人が元気になる言葉、人がうれしい気持ちになる言葉をつかおう

②自分がされて嫌なことは、絶対に人にしない

◆進級の春がもうすぐそこまで

今年度も残り一か月ほどとなり、どの学年も一年間の学びを総まとめする時期を迎えました。

児童は自らの学びを振り返ることで、成長を実感するとともに、自己肯定感や他者への共感力を高めていきます。このような観点からも、子どもたち一人ひとりにとって、充実した振り返りの時間となることを願っています。

◆県小学校合奏祭～音楽部出場～

県内から21の小学校が参加して、2月8日(日)県立劇場コンサートホールにて開催されました。

白川小学校音楽部は、午後一番の出番でした。曲目は「ブラームス作曲：ハンガリー舞曲第1番」。

美しいハーモニーを奏で、奏者と聴衆が一体となって素敵な時間を共有することができました。

演奏後、14人の部員が、嶋本先生をはじめ日頃からご指導いただいている古庄先生、福田先生、瀧瀬先生、平野先生、森先生らと共に成果を称え合う姿にとっても感動しました。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

◆げんきな免疫プロジェクト

1月16日(木)、キリンビバレッジ株式会社から講師の先生をお招きし、6年生が学級ごとに免疫について学習しました。免疫力を高めるためには、運動やバランスの良い食事、睡眠に加え、「笑うこと」や「入浴で体を温めること」も効果があると教わり、子どもたちは初め「えっ?!」と驚いた様子でしたが、説明を聞くにつれて「なるほど…」と納得の声があがっていました。

学習の最後には、免疫の働きを活性化する“プラズマ乳酸菌”のお土産をいただき、子どもたちはとても嬉しそうでした。講師の先生方からは「どの学級も反応がとてもよく、つい嬉しくなって時間をオーバーしてしまいました」とのお言葉をいただきました。

なお、このプロジェクトは熊本県内で初めての実施であり、その様子は当日の夕方、KKTのニュースでも紹介されました。



◆学校保健委員会「いのちの大切さを考える講演会」

1月21日(水)の午後、県助産師会よりお二人の助産師の方を講師としてお招きし、5・6年生が命の大切さや人のかかわりについて学びました。

講演では、お母さんのおなかの中での成長の様子から出産までを、映像や実物大の人形を使って分かりやすく説明していただきました。温かみのある語り口調に、どの児童も真剣なまなざしで耳を傾けていました。



児童からは、「自分は大切に育てられてきたし、他の人も同じように大切にされてきたことが分かった。だから、自分も他の人も大切にしたいと思った」「人を大切にするために、相手が嫌がることは絶対にしません」などの感想が聞かれ、学びをしっかりと心に受け止めている様子うかがえました。

◆6年生キャリア教育講話「私はどう生きるか」

2月5日（木）、さまざまな分野でご活躍されている5人の講師の先生方【創作和菓子職人】立山さん 【保育士】大野さん【俳優・タレント】小松野さん 【獣医師】徳田さん 【銀行員】塚本さんをゲストティーチャーとしてお招きし、仕事への情熱や苦労、そして生き方についてお話をいただきました。

講話の後には、児童が積極的に質問するなど、講師の先生方のお話をしっかりと受け止めている様子が伝わってきました。自分の将来を見つめ直し、これからの生き方や進路について考える貴重な機会となったようです。



◆教育実践表彰(藤本祥太先生・山口翔乃介先生)

熊本市教育委員会「令和7年度教育実践」に、本校から藤本祥太先生と山口翔乃介先生が応募されました。お二人とも大変お忙しい中、寸暇を惜しんで日頃の実践を丁寧にとまとめられました。

藤本先生は「課題意識をもとに、学びを創造する児童の育成～児童の困りから始まる体育授業を通して～」を主題に、教育実践〈個人の部〉において奨励賞を受賞されました。

一方、山口先生は令和6年度に本校が取り組んだ健康教育モデル校としての実践を「豊かな心と健やかな体の育成～心と体の元気づくり～」の主題でまとめ、教育実践〈団体の部〉において入選されました。

今日的な教育課題に向き合い、先進的な研究や日々の授業改善の成果を発表することは、教職員としての資質向上につながるだけでなく、得られた成果を広く共有し活用することで、本校のみならず本市の教育の発展にも寄与するものと期待されます。

お二人のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

